

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年11月 4日				
放課後等デイサービス「くれよん」						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	限られたスペースを生かすとともに、屋外活動を積極的に取り入れています。また、個室の提供や個別のスペースを提供し、特性に配慮し過ごせるようにしています。	地域の社会資源を活用したり、活動場所を分けることでお子様がのびのびと活動できる空間を提供していきたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2	国が定めた人員配置基準に沿って職員を配置しています。送迎や活動の際、適切な職員数を確保し支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	日課を絵カードや写真を用いて掲示しています。一日のスケジュールをボードにすることで見通しを持ち活動に参加できるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の掃除、換気・消毒を行い、清潔を保てるよう心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		お子様一人ひとりの特性に配慮し、また、希望を確認しながら個室等の提供を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		事業所会議や引き継ぎ時などに情報共有を図り、意見交換を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1回保護者様へのサービス評価アンケートを実施しています。その内容を事業所会議で共有・検討し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		コミュニケーションが円滑に図られ、意見を言いやすい環境づくりを行っています。また、会議資料等は事前に配布したり、引き継ぎ等で情報共有や意見交換を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		第三者評価は実施していません。保護者様へのサービス評価アンケートや盛岡市の運営指導を受け、改善点を協議しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職場研修（月1）、伝達研修を実施しています。その他、職員の希望に応じた研修参加を行っています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPIに公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		事業所会議や日々の引き継ぎの中でアセスメントやニーズの分析を行い、全職員で話し合いながら計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		引き継ぎや事業所会議等でお子様の様子について共通理解を図り、必要な支援を検討する場を設けています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		モニタリング後の事業所会議にて、全職員で個別支援計画の共有を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		定められたアセスメントシートや日々の支援記録などを踏まえ、全職員で確認しながら作成を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		事務室に放課後等デイサービスガイドランを設置し、いつでも目を通せるようにしています。また、モニタリング等を重ねることによりより具体的支援内容になるように確認しています。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		事業所会議にて、活動内容について話し合い確認した後に実施をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		月間の活動計画に従って活動をしています。同じ活動プログラムが続かないよう配慮しながら活動計画を作成しています。	活動プログラムや内容を見直しながら、お子様の興味関心を引き出せる活動の提供に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		お子様一人ひとりの特性に応じて、活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援前に引き継ぎと打ち合わせを行い、当日の支援についての情報共有を行い、支援に当たっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		毎日終礼を行い、その日の利用されたお子様全員の様子等の振り返り、情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援記録の他、必要に応じて発作記録や不穏時の記録を行っています。また、その資料をもとに検証し改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6か月に1度のモニタリングを行い、お子様や保護者様のご意向を確認しながら、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		基本活動を組み合わせ支援を行うことについて、全職員で共通認識を図りながら支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		毎日のおやつ選択の他、休日の買い物体験やなど活動時に自己選択できる場面の提供を行っています。	職場研修への参加を通して、意思決定や意思形成に必要な支援の学びを深めます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		主に児発管が参加しています。会議後に、引き継ぎや事業所会議で全職員と情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		学校や関係機関との情報共有を行うとともに、通院の際には通院の結果や検査内容の結果を教えていただき支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校からのおたよりの配布を受け、下校時刻の変更や行事の把握に努めています。学校と放デイの連絡会を実施しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		利用前に通園している保育園等に見学に行き、情報共有できるよう対応しています。利用前にサービス担当者会議を実施しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		求められた場合、お子様と保護者様に了解を得て提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	関係する研修会に参加し、連携を図るように取り組んでいます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	他校のお子様と活動する機会や放課後等デイサービス3事業所の行事等により、活動の機会となっています。	地域の他のお子様との活動については、交流方法を検討していく必要があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	自立支援協議会等の情報については、盛岡市からのメールにより内容を共有しています。	情報収集と情報共有を行い、職員への周知を図っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や送迎時にその日の様子を丁寧にお伝えし、また、保護者様からのお話もうかがいながら共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		サロン事業を実施しています。また、関連する研修会等については、チラシを配布・掲示しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		運営規定は玄関先に掲示をしています。支援プログラムはホームページに公開し、利用者負担等は契約時やモニタリング時、更新時に説明の機会を設けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリング前にお子様や保護者様の要望を記入していただき、個別支援計画に盛り込んでいます。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		モニタリングにて支援内容の説明を行うとともに、個別支援計画作成後、改めて説明し同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者様からの相談等があった際には、お話を聞きし、必要時には助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	サロン事業や行事などでご家族様の交流が図れる場を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情等相談窓口について、契約時にご説明し、また、担当者等を掲示しています。苦情解決のフローチャートに従い、対応をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月、事業所だよりを発行して活動の様子をお伝えしています。	ホームページを活用しながら、日々の様子について情報発信していきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取扱いについては、マニュアルに沿い対応をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		情報の伝達が適切に行えるよう、必要時は視覚支援を活用する等、配慮を行い対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	地域の商店や産直を定期的に訪問し、また、地域の店舗や公共施設などを利用することで交流を図っています。	今後も、地域の方々に知ってもらえるよう社会資源を活用した活動を提供をしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に見直しを行い、各種マニュアルの整備を行っています。各種マニュアルについては、モニタリングや契約時に保護者様へ説明の機会を設けています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定したうえで、毎月各災害を想定した防災訓練を実施しています。また、盛岡市シェイクアウトにも参加しました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時やモニタリング時に現在の通院状況について確認をしています。熱性けいれんの対応や喘息症状等、お子様の症状に応じた支援の必要性を確認しています。	今後、発作等への対応について、研修会を開催し、職員の共通理解を深めていきたいと思っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アセスメント・モニタリング時、保護者様にお聞きしながら、情報共有を図り、対応をしています。	食物アレルギー対応についての研修会を行い、理解を深めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画に沿って毎月訓練を実施しています。また、安全点検も行い、全職員で確認しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画を作成し取り組んでいます。避難訓練や交通安全教室などの様子について、連絡帳や事業所だよりでお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		その都度、報告し再発防止策を検討しています。また、事業所会議や引き継ぎ時も、全職員で再度確認して、再発防止に取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年2回虐待防止研修や毎月人権侵害自己チェックを行っています。毎月の事業所会議では、サービス提供の手引き「手にして未来」等を活用した読み合わせを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		現在、身体拘束の同意が必要とされるお子様はいませんが、お子様の行動特性については毎月の事業所会議の確認・検討しています。	